



不 高 学 友 会 だ よ り

発行所
 埼玉県立不動岡高等学校
 校友会
 加須市不動岡1-7-45
 電話 0480 (61) 0140



ごあいさつ
 校長 門 谷 修 二 郎

本年四月に、諏訪社の満開の桜に迎えられて、不動岡高校に着任いたしました。三月までは、県教育局立学校人事課に勤務しておりました、久しぶりの学校ということもあり、全てが新鮮で、豊かな自然、しっとりとした落ち着いた町並み、そして何より暖かい人情に包まれた加須の町が大変好きになりました。百二十五年という歴史と伝統を誇る不動岡高校の校長として教員生活を全うすることを誇りに感じております。

加須は、尚武の土地柄、不動岡高校といえ、とりわけ剣道が盛んな学校という印象を、私は強くもっています。私が昭和五十一年に大学を卒業して、県立高校に奉職した当時、現在では範士八段で

埼玉剣道界の重鎮であられる山中茂樹先生が、本校で教鞭を執られており、生徒を鍛え上げては優秀な成績をあげておられました。私も、近しく先生の御指導をいただいていたこともあり、近年の部員数の減少は口惜しい限りであります。校友会会員で、長く剣道部の顧問を務められた宮崎良雄先生も、残念なことによる三月には定年を迎えます。私の在職中に、何とかかつての剣道部の隆盛を取り戻したいものと願っています。

話が後先になってしまいました。が、今年、本校が半期単位認定のセメスター制を導入して、最初の卒業生を送り出しました。セメスター制とは、高等学校の教育課程を三年前期までに終了させて、三年後期には、大学受験に焦点を絞った学習に専念し、進学実績を伸ばそうというシステムであります。県は本校に対して、校舎の新築をはじめ県下有数のすばらしい施設設備を整え、少人数授業などのために教員の加配も行っています。教育局勤務の経験をもつ私を校長に指名したのも、何としてもセメスター制の成果を挙げようということだと私は理解しています。

「質実剛健」「文武両道」の校訓に支えられた伝統を受け継ぎ、進取の取組を開花させることが私の使命でもあると考えております。校友会の皆様には、今後とも、母校に対する熱い御支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成二十一年度末にお知らせしましたとおり、本校のポプラは伐採されました。伐採に先立ち、三月十六日に、生徒・職員のほか、多くの卒業生、旧職員等の方々の御出席をいただき、「ポプラとお別れ会」を実施いたしました。当日は、参加の皆様方の心もったスピーチの後、全員で感謝を込めて校歌を合唱し、会は滞りなく終了しました。

ポプラ並木は、昭和四十年三月に第七十七回卒業生が、それまであった桜並木が老木化のため伐採された跡地に、卒業記念として植樹したものです。爾来、約半世紀にわたって、不動岡生の心の友として愛され、また本校のシンボルとしてその偉容を誇ってまいりました。さらに、地元加須市をはじめとする近隣地域の方々にも親しまれてまいりました。

伐採に至りました経緯については、すでに本校のホームページ、皆様へのお知らせ、新聞報道等で御案内のこととは存じますが、平成二十一年八月に一本が立ち枯れ、十月には台風による強風で二本が倒れてしまいました。急遽、本校卒業生である樹木医の小山千秋先生の診断を仰ぎ、残り二十一本のうち三本を除く十八本が老木化により倒木の危険が大きいことが判明しました。この結果に、学校としては深甚なショックを受けまし

ポプラよ
 ありがとう！

二〇一〇年度の入試結果

国公立大学合格者81名、うち現役合格者は59名であった。現役合格者の数は例年に比べ10名ほど少なかった。現役合格者の減少は、県内をはじめ全国の多くの公立高校でも見られるが、これはセンター試験が難化し、現役生にとって厳しい入試となったためと考えられる。一方、浪人生が例年よりも多く国公立大学に合格し、現浪合計では例年並みの実績となった。難関大学では、北海道大学1名、東北大学3名(うち現役2名)、一橋大学1名、弘前大学医学部医学科1名(現役)、東京外国語大学4名(すべて現役)が合格した。合格人数の多い大学は埼玉大学19名(うち現役13名)、埼玉県立大学13名(現役)、東京学芸大学8名(7名)、千葉大学7名(5名)、宇都宮大学7名(5名)である。

私立大学では、早稲田大学16名(うち現役11名)、慶應義塾大学7名(3名)、上智大学10名(6名)、ICU4名(すべて現役)、東京理科大学30名(22名)の難関大学合格者を出した。その他では、立教大学50名(40名)、明治大学44名(34名)、法政大学40名(27名)、日本大学60名(47名)、東洋大学45名(36名)、芝浦工業大学35名(6名)で多くの合格者を出した。

今年、国公立大学受験において、例年に比べ難関大学へのチャレンジが多かった。結果は悲喜こももであったが、志高く挑戦した気持ちは尊敬に値する。浪人して、再チャレンジをする者もいるが、来年は是非、合格を掴み取ってほしい。一方、私立大学入試では、残念ながら難関大学へのチャレンジが非常に少なかった。特に、早稲田大学・慶應義塾大学の受験者数が他の進学校に比べて圧倒的に少なかった。チャレンジすれば合格できた者も少なくないであろう。非常に残念であった。

不 動 岡 生 活 には、日々 授 業 に 真 剣 に 取 り 組 み、家 庭 での 学 習 時 間 を 確 保 し、志 高 く、大 学 入 試 に チャ レ ン ジ し て も ら い た い。

進 路 指 導 部 岩 崎 誠 一

過去3年間の合格者数(現浪計、私立大学は延べ人数)

大 学 名	2008年度	2009年度	2010年度
北海道大		1	1
弘前大	1		1
岩手大		2	
東北大			3
福島大		1	
茨城大	1	3	
筑波大	6	8	2
宇都宮大	8	9	7
群馬大	1	2	2
埼玉大	26	20	19
千葉大	1	6	7
東海大			1
電気通信大			1
東京大	1		
京外大	6	3	4
京芸大	1	4	8
京農工大	2		
一橋大	1	1	1
横国立		1	1
新潟大	3		
富山大			1
金沢大			1
信州大	1	1	
宮城大		1	
秋田大			1
前橋工大		1	
高崎経立大	1	3	1
埼玉立大	8	10	13
首都大		1	4
横浜市立大		2	
石川立大			1
都立大			1
静岡大		1	
合 計	68	82	81

大 学 名	2008年度	2009年度	2010年度
獨協大	46	35	43
文教大	34	38	26
青山学院大	11	8	5
学習院大	16	14	20
北里大	5	6	7
慶応大	4	5	7
国学院大	4	9	6
国際基督教大	2		4
駒澤大	17	8	6
芝浦工大	19	32	35
上智大	8	9	10
成蹊大	11	13	11
成城大	22	18	22
専修大	23	7	6
大東文化大	7	6	12
中央大	31	33	17
津田塾大	2	8	6
東京家政大	12	10	9
東京女子大	2	12	11
東京農大	12	10	15
東京理大	29	30	30
東洋大	64	63	45
日本大	53	41	60
日本女子大	5	4	11
法政大	38	51	40
星大	7	6	1
武蔵大	10	13	7
明治学大	32	39	44
明治学大	10	13	8
明治学大	14	12	6
立教大	50	58	50
早稲田大	13	29	16
その他	179	148	177
合 計	792	788	773

討 報

前衆議院議員三ツ林隆志様(84回卒)が本年八月二日、五十七才で他界されました。謹んで、お悔み申し上げます。

学友の集いに ご参加ください

恒例の学友の集いを左記のとおり開催いたします。新しく生まれ変わった母校を、ご自身の目でご覧頂きつつ、旧交を暖めて頂ければ幸いです。お誘い合わせのうえぜひご参加ください。

日 時

平成二十二年十一月七日(日)
午前10時より

会 場

埼玉県立不動岡高等学校
不動岡ホール

総会議事

- ①平成21年度会務報告
- ②平成21年度会計報告
- ③慶祝者表彰
- ④その他

懇親会

不動岡百周年記念会館にて

懇親会費

三、〇〇〇円
(当日受付でいただきます)

お問合わせは

☎〇四八〇一八一〇一四〇まで

現在の不動岡高校

内モンゴル

「フフホト第2中学」を訪ねて

8月17日から26日までの10日間、1・2年生27名を引率して中国を訪ねた。前半は姉妹校提携をしているフフホト第2中学（内モンゴル自治区第一の名門高校）との交流、後半は北京市内で紫禁城、万里の長城などの名所見学であった。生徒の楽しそうに過ごす姿から収穫の多い旅行であったことが窺えた。



フフホト2中で印象に残ったことを1つ記したい。学校正門を入ったところに置かれた「教学撰名序」と題した石碑の文中に、勿論漢文だが「身を修め、家を斉え、国を治め、天下を平らかにす」の言葉があった。さすがに儒教の国、そして国家有為の人材育成を教育目標としていることが知られた次第だが、前日見学した授業でのレベルの高さと生徒の積極性、交流

時に最近の中国躍進理由の一端を見た思いであった。振り返って、本校の本気度はどうだろうかとも。伊藤 誠男

オーストラリア海外研修



今年度は昨年度の新型インフルエンザ騒動の反動か、35名という大所帯で、7月29日から8月11日

までの14日間、クイーンズランド州にある姉妹校のキンガロイ高校を訪ねました。現地の人々との交流やホームステイを通して、相互の異文化理解を推進することができました。その後今年もクイーンズランド大学を訪ねし、日本語専攻の学生達の前で、プレゼンテーションを行い、その後フリーデイズカッションを行いました。とても充実した、2週間となりました。塩原 壮

部活動報告

陸上部

七月二十九日から沖縄県沖縄市で開催された全国高校陸上競技選手権大会に、川島優（三年）が棒高跳に出場しました。昨年度は二年生で優勝し、今年度は二連覇を目標にしての出場でしたが、それ

を達成することはできませんでした。それでも、記録は五m〇五cmで昨年度の優勝記録五m〇〇cmを上回り二位に入賞することができました。今年度は埼玉県大会予選会の直前に大腿部を故障し、出場そのものが危ぶまれましたが、何とか埼玉県予選会と関東大会を通過しての出場でした。故障から初めてでの全力での跳躍がインターハイとなり、持てる力を発揮することができませんでした。その状況から考えると全国大会二位という成績は納得できるものであったと思います。今後は、千葉で開催される国体、愛知で開催される日本ジュニアに出場する予定です。怪

私も完治し十分に練習もこなせていたので、全国総体では果たせなかつた全国制覇をぜひ達成し、不動岡高校の名を全国に轟かせてほしいと思います。学友会の皆様には今後とも不動岡高校部活動全体の発展のため、ご理解とご支援賜りますようお願いいたします。顧問 小堀 泰代 倉科 淳



十月一日の国民体育大会では五m一〇cmで優勝いたしました。

新聞部 全国高文祭 七年連続出場

八月一日から三日にかけて行わ

れた第三四回全国高等学校総合文化祭宮崎大会に二年生部員三名が参加してきました。口蹄疫で一時開催が危ぶまれましたが、防疫体制がしっかり行われ無事に実施できました。これで第二八回の徳島大会から七年連続の全国大会出場になりました。

大会の内容は大きく二つあります。一年間に発行した全ての新聞を五人の審査員が審査して最優秀校五校と優秀校七校を選ばれ、全国高校新聞年間紙面審査の最終選考結果の発表と表彰式。全国の新聞部員で班を作り現地の取材を行い約一日で新聞を作る「交流新聞」づくりです。埼玉県の場合、この大会に参加できるのは、年間紙面審査の一次審査に選ばれなくてはなりません。その一次審査に選ばれた全国五十校弱の高校から最終的に上位二賞が選ばれます。「不動岡高校新聞」は昨年に続いて今年も上位の「優秀賞」を受賞することができました。高い評価を得てプレッシャーを感じつつ今日も新聞づくりに取り組んでいます。顧問 長島 巖

第53回NHK杯全国高校放送コンテストに出場して

放送部の活動は、日頃の学校行事の放送活動だけでなく、アナウンス、朗読、ラジオ番組、テレビ番組の制作も取り組んでいます。今回は、テレビドキュメント部門に作品『ポプラ並木の下で』を制作しました。埼玉大会で優良賞を受賞し、その結果7月25日〜27日NHKホールを中心に行われたN

HK杯全国高校放送コンテストに出場しました。全国から集まった放送部員の創作意欲、1コマ1コマにかける熱意、研究心や工夫など大いに刺激になりました。準決勝には進めませんでした。本校放送部員中村将大君が制作した作品も上映され全国の放送部員に本校の象徴であったポプラの映像をみてもらうことができました。制作にあたり本校旧職員松本治彦先生、樹木医で本校OBの小山千秋様、埼玉大学浅田茂裕教授をはじめ多くの方々の協力があったおかげです。ありがとうございました。本校の象徴であったポプラの記念としても永く保存しておきたいと思えます。顧問 村田 潔 根岸 亮司

箏曲部 「全国高総文祭みやざき」報告

八月一日から四日まで、宮崎県で開催された第三十四回全国高総文祭みやざき大会に、3年生十四名2年生二名で参加しました。都城市総合文化ホールは四年前に開館したすばらしい施設で、各県代表の五十五校が集まり、演奏を競いました。

演奏曲は江戸慎吾作曲「雪しまき」です。静かに舞う粉雪がだんだんと激しくなり、吹雪となって吹き付ける様子を表現しています。今までの練習が成熟した音色となり、とてもよい演奏でした。この経験は生徒にとって大切な財産です。ありがとうございました。顧問 久保美恵子